

花きの栽培技術

ストックの育苗と八重鑑別

ストックは無加温ハウスで栽培でき、冬季の切り花として根強い人気があります。栽培で難しいのは、八重鑑別で、鑑別をしないと40～50%程度は一重咲きとなり、収益低下につながります。ここでは、育苗と八重鑑別について紹介します。

1 播種

播種時期は作型や品種により異なります。1本切りの品種では8月上中旬播種で12月、8月下旬～9月上旬播種で2月出荷となります。直播きは移植より到花日数が少し短くなります。ストックは品種や気温により、開花時期が変わるので、地域の状況をふまえて、播種時期を判断して下さい。

播種量は移植栽培で10アール当たり4dℓ(約10万粒)程度必要となります。直播き栽培では種子量が少し多くなります。

移植栽培ではハウス中に畝をたてて播種します。軽く灌水をして適度な水分状態の土壌に播種します。均一に播種したあと薄く覆土をし、寒冷紗等で遮光をしておきます。播種後、3日程度で発芽するので、気温を見ながら徐々に寒冷紗を除去し、苗が徒長しないように育てます。

2 八重鑑別

播種後7～10日ごろ、双葉がそろった頃に八重鑑別をします。表に示した

ように、八重の株は①生育が早い、②葉の色がやや淡い、③葉が大きい、④葉の形が楕円形(しもぶくれ形)といった特徴があります。数日後に再度鑑別し、八重の株を残すようにします。

	八重	一重
発芽・生育	早い	遅い
双葉の色	緑が淡い	緑が濃い
双葉の大きさ	大きい	小さい
双葉の形	楕円形	丸い

3 育苗

播種から定植までは約20日程度です。定植が遅れて老化苗になると、定植後の生育が悪くなるので注意してください。定植時には本葉が3～4枚になっています。定植時に、葉が小さい株は一重のころが多いので、最後に定植するようにします。均一に育苗することが八重率向上につながるのので、丁寧な育苗に心掛けてください。

(JAグループ和歌山農業振興センター)

